

様

要 請

75歳以上医療費窓口負担2割化中止 を掲げ国会審議に臨んでください

総選挙での闘いご苦労さまでした。

2021年6月4日参議院本会議で、75歳以上医療費窓口負担2割化法が可決されました。この法律が実施されると2022年後半から年収200万円以上の人370万人（後期高齢者医療制度加入者の約20%）が、現状1割から2倍の2割負担となります。

先の通常国会審議の中で、

- ①2割負担導入による現役世代の負担軽減効果はわずか月額約30円であること、
 - ②コロナ禍の今、精神的にも経済的にも疲弊している中での高齢者への負担増は受診控えを招くことが、各種調査で明らかになっているにも関わらず、政府は「健康悪化には結び付かない」としていること、
 - ③国会審議を経ずに2割負担増の対象者を政令によって広げることができること、
- 等数多くの問題点が明らかになりました。

コロナ禍で「医療崩壊」が起き、ただでさえ高齢者の受診控えが進んでいる中、高齢者が必要な医療を受けられなくなることを前提にした負担増は、高齢者のいのち・健康権・人権の侵害です。応能負担は、窓口一部負担に求めるのではなく、富裕層や大企業に求めるべきです。

必要な給付は、保険料や窓口負担を増やすことだけでなく、公的負担と事業主負担の充実で保障すべきです。先進国では、医療費の窓口負担は無料が当たり前です。

75歳以上医療費窓口負担2割化は、高齢者の暮らしといのち、健康、人権を守る上で大きな影響を及ぼします。

私たちは、世界一の長寿国日本で長寿を喜び明るく暮らせる社会をめざしたいと考えています。

高齢者のみならず多くの国民の願いに応え、75歳以上医療費窓口負担2割化中止の政策を掲げて国会審議に臨んでいただくようお願いいたします。